

ル

【時間割コード】	※空欄
【科目名】	開発協力論研究Ⅱ／法整備支援
【英文科目名】	Practice of International Development Cooperation in the Legal and Judicial Field
【担当教員（代表者）名】	小林誉明
【開講学期】	秋学期
【曜日・時限】	木曜日・2時限／木曜日・1時限

<p>【授業の目的（必須）】 授業で何を知らしてもらいたいのか。そのねらい、目的を示してください。</p> <p>国際開発協力（特に政府開発援助：ODA）の実践においては、その「成果」をあげることが強く求められる。しかし、①援助による効果だけを峻別することの困難性、②予期せぬ効果・副次的効果の価値を計ることの困難性、③目に見えない効果を捕捉することの困難性、④長期間経過しなければ発現しない効果を捉えることの困難性等によって、成果を適切に「評価」することは難しい。</p> <p>このような成果の測定が最も困難な分野が、長期間かけて目に見えない社会規範の変容を目指す「法整備支援」である。本授業では、法整備支援の具体的事案を検討することを通じて、国際開発協力の実践上の課題を理解する機会としたい。</p>
--

<p>【授業概要（必須）】 授業計画を第1回～第15回（4単位科目は第30回）まで、1回ごとに具体的に記述してください。</p> <p>なお、定期試験を実施する場合には第16回目もしくは、第31回目に「定期試験」と記載してください。</p>

<p>より詳細なスケジュール案についてはオリエンテーション時に案内する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション <p><法整備支援の背景></p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 冷戦終結と新制度派経済学 3. “手段としての法整備支援 4. ガバナンス」セクターにおける法整備の位置づけ <p><法整備支援の理念と実践></p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 法整備のシーケンス 6. 法整備に不可欠な環境整備 7. 日本の法整備支援の特徴とその起源 8. JICAによる実践事例 8. 国際機関による実践 10. 「現場」の専門家からの報告 <p><グループワーク></p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 事前調査のシミュレーション 12. 案件形成のシミュレーション 13. モニタリングと軌道修正のシミュレーション
--

14. 事後評価のシミュレーション

15. まとめ

【履修目標・到達目標（必須）】 授業を通じて学生に何を習得させるか、期待される学習の成果等について、必ず記述してください。

履修により得られるキースキルについても、できるだけ記載してください。※学生を主語として記述してください。（例：「～ができる。」、「～ができるようになる。」）

本講義を通じて、法整備支援に代表される国際開発協力の「理想と現実とのギャップ」を知ると同時に、大学院にて学んだ「知見を実践にフィードバック」させるためにはどうしたら良いかのヒントを得られる。

【授業方法】 資料の配布や音声もしくは画像教材の活用など、授業の進め方について説明してください。

また、授業中の質疑・討論や小テスト、課題提出、レポート作成その他、授業方法に関する情報を記述してください。

授業は、担当教員による講義に加え、ゲスト講師を招いて支援の現場での生の話しも聞けるようにする。一方通行の講義ではなく、討論やケーススタディ、グループワーク等の時間を多く設けるようにする。

【成績評価の基準（必須）】 「成績評価基準の標準化」との関係で、評価法とその配分を明記し、評価の観点を記述してください。

討議への参加（30%）、グループワークへの貢献（30%）、レポートもしくは政策提言文書（40%）をもとに評価を行う。

【教科書】 授業や授業時間外学習で使用する図書情報(購入を必須とするもの)を全項目入力してください。

ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。

教科書を指定しない場合には、教科書1の書名欄に「-」と入力してください。

教科書1	ISBN		書名	-		
	著者名		出版社		出版年	
教科書2	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書3	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	

<教科書補足> 教科書の使用法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。
特にない場合には「-」と入力してください。

必要に応じてオリエンテーション時に提示する。

【参考書】 授業や授業時間外学習の参考になる図書情報(購入が必須ではないもの)を全項目入力してください。
ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。
参考書を指定しない場合には、参考書1の書名欄に「-」と入力してください。

参考書 1	ISBN	4326402806	書名	『開発法学の基礎理論：良い統治のための法律学』		
	著者名	松尾弘	出版社	勁草書房	出版年	2012
参考書 2	ISBN	4815806683	書名	『法整備支援とは何か』		
	著者名	鮎京正訓	出版社	名古屋大学出版会	出版年	2011
参考書 3	ISBN	4326503440	書名	『開発政治学入門：途上国開発戦略におけるガバナンス』		
	著者名	木村宏恒他(編)	出版社	勁草書房	出版年	2011
参考書 4	ISBN	4887309929	書名	『開発援助がつくる社会生活：現場からのプロジェクト評価』		
	著者名	青山和佳・受田宏之・小林誉明(編)	出版社	大学教育出版	出版年	2010
参考書 5	ISBN				出版年	
	著者名				出版年	
参考書 6	ISBN		書名		出版年	
	著者名		出版社		出版年	
参考書 7	ISBN		書名		出版年	
	著者名		出版社		出版年	
参考書 8	ISBN		書名		出版年	
	著者名		出版社		出版年	
参考書 9	ISBN		書名		出版年	
	著者名		出版社		出版年	
参考書 10	ISBN		書名		出版年	
	著者名		出版社		出版年	

<参考書補足> 参考書の使用法、参考書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。
特にない場合には「-」と入力してください。

必要に応じて、毎回の講義にて提示する。

【履修条件および関連科目】 当該授業を履修するにあたって、あらかじめ履修すべき授業科目などの条件がある場合に明記してください。

また、並行して履修することによって教育効果を高める授業科目などの情報がありましたら記載してください。

開発協力論Ⅱを履修済みであること。

【キーワード】 5語以内で重要語句(かっこ書きで英語併記)を入力してください。語句は半角カンマ「,」(全角は不可)で区切ってください。
語句抽出が困難な科目は「-」を入力してください。
キーワードは「シラバス検索」で利用されます。

国際協力,ODA,開発法学,法整備,ガバナンス

【備考1】 学習動機を高める学生へのメッセージやその他の注意事項等を入力してください。

法整備支援は、国際開発協力のなかでは比較的新しく、評価手法をはじめとして実践のための方法論がとりわけ未成熟な分野である。同分野への法曹関係者の更なる参入が期待されるが、本授業においてもロースクール在籍諸氏による専門家としての立場からのアイデア等の提案を歓迎する。重要な提言であれば、JICAの支援の現場へのフィードバックも試みるつもりである。

【備考2 [学外非公開]】 当該科目の説明のうちで、学外へ非公開とすることが望ましい事項についてはこの欄をご活用ください。

【参照ホームページ】 学生の学習に効果的な情報が掲載されているホームページがあれば入力してください。
アドレスを入力すると、公開画面に、自動的にリンクが張られます。
複数のアドレスを入力する場合は、スペース(空白)をあけて入力してください。